

大阪医大が医師派遣継続

県と協定 嶺北、くぼかわ病院に

聞

高知県は23日、県内の地域医療の充実に取り組んでいる大阪医科大学（大阪府高槻市）と3期目の協定を結んだ。協定期間は2年で、嶺北中央病院（長岡郡本山町）、くぼかわ病院（高岡郡四万十町）に引き続き医師が派遣される。

3千万円。同大学や同じ学校法人が運営する大阪薬科大学の学生たちが県内で多職種連携を学ぶ地域医療実習や、県内の医師を対象にした総合診療専門医の養成なども続ける。

高

知

新

県は2015年1月に同大学と協定を締結し、地域医療を学ぶ寄付講座を開設した。同大学は嶺北中央、くぼかわの順に内科医2人を派遣。17年度は両病院に1人ずつ派遣している。

県庁で行われた締結式では、尾崎正直知事が「県中央部に医療資源が集中する中、特に総合診療専門医が地域にいる心強さは非常に大きい」とあいさつ。大阪医大の大槻勝紀学長は「地域に密着した医療の体験は非常に貴重。総合診療に取り組む人材を育てたい」と述べた。

3期目は20年3月末までで、寄付額は毎年

（門田朋三）